

令和5年度第1回「生徒による授業評価」集計結果について(ご報告)

金風の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日ごろより、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、神奈川県では例年、授業改善の取組みに資するものとして年に2回「生徒による授業評価」を実施しておりますが、今年度の本校における第1回(前期)の実施結果がまとまりましたので、次のとおりご報告申し上げます。

1 アンケート設問

大項目	番号	小項目
授業の在り方について	1	毎時間の授業や単元(内容のまとめ)のはじめに学習のねらいを示したり、毎時間の授業や単元の学習のあとに学習したことを振り返ったりする機会がある。
	2	単元(内容のまとめ)の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある。※他者とは、他の生徒・教員等を言う。
	3	単元(内容のまとめ)の学習の中で、課題について自分の考えをまとめたり、解決方法について考える場面がある。
学習の状況について	4	授業の中で「できるようになったこと」が増えたり「わからない所」に気づいたりしたことがありましたか。
	5	他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた。※他者とは、他の生徒・教員等を言う。
	6	授業で得た知識をもとに、自分の考えをまとめたり、課題の解決方法を考えたりすることができた。
	7	授業で学んだことをそれまでに学んだことと関連付けて理解することができた。
認知変容について	8	4月に授業が始まってから、「自分の考え方を変えることで、自分の周りの人や出来事に対する考え方や感じ方が良い方向に変わった」という経験をしましたか。
	9	昨年度(1年次は中学生の時)よりも、自分の考え方を変えることで、授業に前向きに取り組めるようになりましたか。

アンケートの設問は、県の共通の設定項目である上記の7項目に加えて、本校独自の設定項目である「認知変容について」における2つの項目が設定されています。その各項目に対して、「4かなり当てはまる」「3ほぼ当てはまる」「2あまり当てはまらない」「1ほとんど当てはまらない」の4段階で評価し、回答します。

2 調査対象者数

実施したアンケートの教科毎の対象者数は次のとおりです。

教科	国語	地歴・公民	数学	理科	体育	芸術	外国語	家庭	情報	国際	総合
人数(人)	983	736	439	534	640	411	436	279	279	3	490

3 調査結果についての分析(数値は全体平均)

全ての項目で回答が4もしくは3の評価である肯定的評価を得ています。特に、設問1は87%、設問4は89%で肯定的評価となっており、「できるようになったこと」が増えたり、「わからない所」に気づいたりできる授業が行われているという評価を得ることができました。なお、本校独自で設定した設問8は83%、設問9は86%で肯定的評価を得ることができており、4月以降の授業を通じた学習によって、生徒の認知の変容が促されていることを確認することができました。

4 今後の授業改善に向けて

今年、本校はICT機器を活用する授業により、生徒の興味・関心を高める研究を各教科で進めていることに加えて、生徒の自己肯定感を育むために、生徒が分かったと思える授業づくりに取り組んでおります。今回の授業評価の結果を受け、より一層生徒の主体性を意識した授業展開から学習内容の定着につながるように工夫を重ねてまいります。

問合せ先
副校長 斉藤
電話 045(953)1005

5 集計結果

教科	評価	設問1	設問2	設問3	設問4	設問5	設問6	設問7	設問8	設問9
国語	4	40.4%	40.9%	40.3%	42.1%	38.4%	37.0%	40.5%	36.3%	41.9%
	3	44.0%	43.0%	45.6%	44.2%	44.6%	45.6%	44.5%	44.4%	43.2%
	2	13.6%	14.0%	12.4%	11.8%	15.2%	15.9%	13.4%	16.9%	12.3%
	1	1.9%	2.0%	1.7%	1.9%	1.9%	1.5%	1.6%	2.4%	2.5%
地歴・公民	4	41.0%	39.8%	41.2%	42.5%	39.4%	37.0%	42.5%	37.2%	43.8%
	3	46.9%	46.3%	45.2%	45.0%	44.2%	47.1%	44.3%	43.5%	41.6%
	2	10.3%	12.2%	12.0%	10.7%	14.0%	14.1%	11.5%	15.9%	12.1%
	1	1.8%	1.6%	1.6%	1.8%	2.4%	1.8%	1.6%	3.4%	2.6%
数学	4	37.4%	35.1%	40.5%	52.4%	34.2%	39.4%	44.9%	34.4%	44.6%
	3	47.6%	49.0%	43.3%	37.8%	50.1%	45.6%	39.4%	46.2%	40.3%
	2	10.5%	12.5%	12.8%	7.1%	12.1%	11.6%	12.3%	14.6%	11.8%
	1	4.6%	3.4%	3.4%	2.7%	3.6%	3.4%	3.4%	4.8%	3.2%
理科	4	46.8%	40.8%	42.7%	48.1%	39.0%	42.1%	44.4%	39.3%	46.8%
	3	41.9%	43.6%	44.2%	41.9%	44.0%	45.1%	42.1%	43.6%	41.6%
	2	9.4%	13.1%	10.7%	8.1%	14.4%	10.1%	10.9%	14.4%	9.6%
	1	1.9%	2.4%	2.4%	1.9%	2.6%	2.6%	2.6%	2.6%	2.1%
保健・体育	4	48.4%	43.8%	46.7%	53.3%	42.5%	43.3%	46.7%	44.1%	48.1%
	3	42.5%	43.6%	43.1%	39.2%	43.6%	43.9%	40.9%	40.9%	39.5%
	2	6.4%	9.4%	7.7%	5.3%	10.8%	10.3%	9.2%	12.0%	9.1%
	1	2.7%	3.3%	2.5%	2.2%	3.1%	2.5%	3.1%	3.0%	3.3%
芸術	4	48.4%	44.5%	49.6%	56.4%	43.1%	48.9%	50.9%	45.5%	53.5%
	3	41.1%	41.4%	38.7%	35.5%	40.6%	39.9%	38.4%	41.1%	36.5%
	2	9.7%	12.4%	11.2%	7.8%	14.8%	10.0%	8.8%	10.5%	8.0%
	1	0.7%	1.7%	0.5%	0.2%	1.5%	1.2%	1.9%	2.9%	1.9%
外国語	4	43.3%	42.9%	43.3%	51.8%	39.2%	39.2%	43.6%	39.2%	46.8%
	3	46.1%	43.8%	44.5%	38.5%	46.6%	45.4%	40.1%	41.5%	36.9%
	2	8.5%	11.9%	10.3%	7.8%	11.9%	13.8%	13.5%	16.3%	11.9%
	1	2.1%	1.4%	1.8%	1.8%	2.3%	1.6%	2.8%	3.0%	4.4%
家庭	4	49.8%	49.8%	52.0%	59.5%	48.4%	50.5%	49.8%	49.1%	58.4%
	3	40.9%	38.0%	37.6%	34.8%	39.1%	38.7%	41.9%	40.5%	35.1%
	2	8.2%	11.1%	9.0%	5.4%	11.1%	10.4%	8.2%	9.7%	5.7%
	1	1.1%	1.1%	1.4%	0.4%	1.4%	0.4%	0.0%	0.7%	0.7%
情報	4	34.1%	28.7%	30.8%	44.8%	26.5%	30.1%	32.6%	28.7%	35.5%
	3	47.0%	43.7%	49.5%	42.3%	45.9%	47.3%	46.6%	48.0%	45.2%
	2	14.0%	21.9%	15.8%	9.3%	22.6%	17.6%	16.8%	18.3%	13.6%
	1	5.0%	5.7%	3.9%	3.6%	5.0%	5.0%	3.9%	5.0%	5.7%
国際	4	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	3	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
キャリア	4	44.7%	44.1%	45.7%	44.1%	45.1%	43.9%	43.9%	41.6%	46.5%
	3	42.7%	43.9%	41.4%	42.9%	42.7%	41.8%	43.5%	45.1%	40.6%
	2	9.6%	9.6%	11.2%	10.8%	10.2%	12.2%	11.0%	10.8%	10.0%
	1	3.1%	2.4%	1.6%	2.2%	2.0%	2.0%	1.6%	2.4%	2.9%
全体平均	4	43.3%	41.2%	43.1%	48.2%	39.7%	40.6%	43.8%	39.3%	46.0%
	3	44.1%	43.9%	43.6%	41.0%	44.2%	44.4%	42.4%	43.4%	40.5%
	2	10.2%	12.5%	11.2%	8.8%	13.5%	12.8%	11.6%	14.3%	10.7%
	1	2.4%	2.4%	2.0%	1.9%	2.5%	2.1%	2.2%	3.0%	2.8%

6 教科での分析と改善に向けて

教科	授業評価の結果から読み取れる課題など	今後の授業改善に向けて
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての項目で3、4の高評価が80%以上を占めている一方で、10%前後の生徒は現状の授業に満足していないことも分かった。特に設問2、5、6は低評価の割合が高く、ここから以下のことことが課題として挙げられる。 ・他者との情報や意見の共有が少なく、知識の発展や表現力の向上につながっていない。 ・授業時間内では教科書の内容を学習するに留まり、学んだ知識を発展させるには至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒にどのような力を身につけさせるのか、どのような方法で行うのかを、教員側が現状より一層明確に計画を立てる必要がある。 また、新学習指導要領で述べられている通り、授業で身につけた力を実社会で活用することが求められている。 そのため、生徒が主体的、能動的に授業に取り組み、学んだ知識を自身の糧とできるよう、活用できるものを最大限に活かした授業作りや、教員同士での定期的な授業見学を行い、教科として改善に向け努力をしていきたい。
地理・歴史・公民	<ul style="list-style-type: none"> ・すべての科目において、1～9の設問で3,4の評価が概ね8割以上を占めている。 この結果は、各教員がICT機器を活用し、意見共有の時間を確保することができていたことが要因であると考えられる。 ・5、8の設問で2を選んだ生徒が目立つことから、他者の意見に触れることで自らの考えが変容するような取り組みをいしきする必要があると考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設問5において、コロナが完全に収束していないことも視野に入れつつ、ICT等を活用して、話し合いの場や他者の考えに触れる機会を増やしていく。 ・設問8において、過去の自分を振り返るような発問を行い、現在の自分との違いをしっかりと自覚する作業などを取り入れていく。 ・授業時数自体が少なくなってしまうため、生徒が身に着けるべき知識、技能を精査し、決められた時間の中で最大限実生活に結びつくような力の育成を目指し、「できた」と実感できるような授業実践をめざしていく。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・設問3の評価が比較的低かった。授業の中で自らの考えをまとめたり、解決方法について考えたりすることができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・考え方のポイントを確認させ、問題を解く過程の考え方や理由を述べさせることで、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深めることを図る。また、オンライン等を活用し、考え方の共有を図る。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・設問2・5の評価1・2の割合がほかと比較して高い傾向にある。 ・自分の意見を持ったり、他人の意見を聞いたりする機会が少ないと感じている生徒が多いようである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を表現したり、他者の意見を知ったりするために、ICTを活用して、回答に選択肢を設ける・匿名などのように、生徒にとってハードルを下げて、生徒が主体的に活動しやすい授業計画を行うことも必要である。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年次はほぼ同じような結果割合になっているが、4、3の割合が9割近くを示している、学習の充実はある程度図れていると思われる。が1年次は2の割合が若干高く出ているところが多く、二極化している可能性がある。 ・3年次は他年次と比べて4の割合が高く、2、1の割合が極めて低い。あまり深く考えずに4や3を選択してしまうところもあるのではないかと思う。 ・設問2と設問6の4の割合が低いことから他者理解の機会が少なかったり、知識をもとに自分の考えをまとめたりする機会が少ない可能性がある。 ・質問4の4の割合が高いことからある程度の技能の習得が図られているのではないかと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1、2年次は一人ひとりの様子を観察し、必要な助言や手段を講じていく。 ・設問2の数値を受けて、グループワークなど、他者との意見交換や協働の場を設定できるようにしていく。 ・設問6の数値を受けて、もっと自分の考えを発信したり記述したりする機会を増やし、学習した内容をもっと広げ深めるようにしていく。 ・他者の考えを知る、自らの考えを広げるところは、ICTを活用することで意見や考えを共有していくことも大切だと感じた。

芸術	<ul style="list-style-type: none"> 概ね各質問に関しては高評価である。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き生徒の理解と技量を高める授業をしていく。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> 設問4が上がるように努めたい。設問2が上がれば5も上がると想定される。一定数評価が低い生徒の回答が気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の「わからない」「できない」課題が何かを授業冒頭で気づかせ、それを解決できたと実感できる問題を授業の終盤にやると、達成感を得させることができ、モチベーション向上できると考える。自分の考えを伝えあう機会の設定（ペアワーク・グループワーク・ロイロやICTの利用）反復できるよう、章末問題を導入する。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 設問3（自分の考えをまとめる、解決について考える）について、例年よりも低い数値になっている。 設問4（できるようになったこと、分からない所に気づいた）については、例年より高い数値になっている。 <p>このことから、生徒の中に授業の中で気づきはあるが、自分の中に落とし込むことが難しい生徒がいることが分かった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホームプロジェクトを通して、学んだことを改めてまとめたり表現したりする機会を設ける。 単元ごとや毎授業ごとに、自分の考えをまとめたり考えたりし、実生活に結び付けるような機会を設ける。
情報	<ul style="list-style-type: none"> 設問2、5の評価が低くなっている。授業の難易度が上がり、内容を聞き取るだけで手一杯になっていて、自らの考えを深めるところまで至っていないと考えられる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に対して、授業の内容を聞いて、考えを深められるような工夫をする。また、後期にはプレゼンテーションの授業も取り入れて、発表を通して生徒が相互に意見を聞いて、考えを広げられるようにする。